

平成 28 年 4 月 13 日

公立大学法人大阪市立大学
医学部・附属病院運営本部庶務課

先端予防医療部附属クリニック MedCity21 健康診断受診者の個人情報の漏えいについて

平成 28 年 4 月 11 日(月)、当クリニックが利用事業者様に向けて郵送した受診者データの中に他の事業者様の受診者データが含まれていることが、受け取った事業者様からの連絡により判明しました。

今回の件で事業者様、受診者様、関係者の皆様にご迷惑をおかけし、市民の皆様の信頼を損ねることとなったことにつきまして深くお詫び申し上げます、今後このような事故を繰り返さないよう再発防止に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

1. 事実経過

- (1) 4月7日夕刻 当クリニック利用事業者 29 団体へ、各団体の受診者データを送付。
- (2) 4月11日午前 上記団体のうち2団体から他団体の受診者データが混入している旨連絡をうける。
- (3) 4月12日午前 2団体に対し訪問回収を行い、正しいデータに交換。
- (4) 4月12日午後 回収したデータを調査し原因分析開始。

※データを送付したのは29団体。残りの27団体のうち19団体からデータを回収し調査を行った結果、さらに、1団体について他団体の受診者データが混入していることが判明。(4月13日9時時点)

2. 漏えいした受診者データ (4月13日9時時点)

3団体 延べ214名分

(受診者氏名・生年月日・性別・住所・健康診断結果・健康保険証情報)

3. 送付データの形状

CD-R に書きこまれた、当該事業者の受診者データ (xml 形式)

CD-R は1事業者あたり1枚

パスワード・暗号化の設定なし

4. 発生の原因

委託先の外部事業者が作成した CD-R を、当クリニックの担当者が内容確認を怠ったまま送付をしたため。

5. 被害の発生

現在のところ、本件に関し、情報が拡散するなどの報告はありません。残りの8団体については至急データを回収し、内容確認を行います。またその確認の結果、他の漏えいが判明した場合にはあらためて公表いたします。

6. 再発防止策について

今後は、送付業務におけるデータと記録媒体の一致についてチェック体制の確立を行うことを徹底いたします。今回の個人情報の漏えいを厳粛に受け止め、個人情報の取扱いについて改めて注意喚起し、再発防止に向けて改めて業務全般の見直しを徹底いたします。

なお、当該事業者様及び個人情報が漏えいした受診者様へお詫びを行ってまいります。

本件に関する問い合わせ先

大阪市立大学医学部附属病院 庶務課 浅井・寺田

TEL : 06-6645-2711